■藤原不比等(淡海公) 公卿。「大宝律令」・平城遷都・「日本書紀」を主導して律令国家の、娘の入内で藤原氏隆盛の基礎。

ふじわらのふひと

有間皇子謀殺 658=

車持君国子の娘の与志古を母に、藤原鎌足の次男に生まれる。

幼時は山科(京都市山科区)の田辺史大隅の家で育ったので、史と名づけられたという。

白村江の戦・ 663= 5歳 :

大津京遷都・ 667= **9歳** :

中臣鎌足没・ 669=11歳 : 父鎌足死去。

壬申の乱・ ・ 672=14歳 :

新羅朝鮮統一 676=**18歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 678=20歳 : この頃より 出仕
・ ・ ・ ・ ・ 679=21歳 : この頃、右大臣蘇我臣連子の女娼子と結婚。
薬師寺・ ・ ・ 680=22歳 : 長男武智麻呂誕生。
・ ・ ・ ・ ・ 681=23歳 : 次男房前誕生。妻娼子死去。
・ ・ ・ ・ ・ 682=24歳 : 賀茂君の女比売女と再婚。
・ ・ ・ ・ ・ 683=25歳 : この頃、長女宮子、次女長娥子誕生。

伊勢遷宮・ ・ 685=**27歳** :

天武天皇没・ 686=28歳 :

順調に官途を歩みだしたらしく、

浄御原令・ ・ 689=31歳 : 歴史に初めて登場する持統朝で判事に任命されたときには、直広肆(従五位下相当)に昇っていた。

・ ・ ・ ・ ・ 693=35歳 : ***藤原朝臣大嶋が死去し、族中の最高位者となる。**

藤原京遷都・ 694=**36歳** : 三男宇合誕生。

・ ・ ・ ・ ・ 695=37歳 : 四男麻呂誕生。

不比等娘入内 697=39歳 : 娘の宮子を文武夫人とし、

不比等確立・ 698=40歳 : 父に賜った藤原という氏を自分の子孫に限定するために、他の藤原一族はすべて元の中臣という氏に戻らせることに成功。

道昭没初火葬 700=42歳 : 大宝律令制定のさいには刑部親王を補佐し、

大宝律令・ ・ 701=43歳 : ***施行と同時に正三位大納言に昇った。この頃、県犬養宿禰三千代と結婚し、光明子が誕生。**

持統天皇没・ 702=44歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 703=**45歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 705=47歳 : 病臥し一時危篤となるも、
その後も順調に昇進し、息子たちも出仕、出世、娘や孫も次々誕生。

和同開珎・ ・ 708=50歳 : ***右大臣に昇進、実質的に政界トップに昇った。**

平城京遷都・ 710=52歳 : 平城京に興福寺を建立。

古事記完成・ 712=**54歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 713=55歳 : 文武の死去後、天皇の他の配偶者からは嬪という称号を剥奪して配偶者を宮子に限定し、

日本書紀始・ 714=56歳 : 文武と宮子との間に生まれた首皇子(後の聖武天皇)を立太子させ、

光明子入内・ 716=58歳 : 光明子を皇太子夫人とするなど、他氏を排除しながら自分の一家と皇室との結びつきを深めていった。

行基活動禁圧 717=59歳 : 先輩の左大臣正二位石上麻呂が死去すると、右大臣正二位のまま首班となり、数人の下僚とともに養老律令の制定に着手したが、
完成させるに至らないものの、

藤原不比等没 720=62歳 : ***<日本書紀の完成>した年に、病没した。**